

# 令和5年度第1回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：令和5年6月22日（木）

午後2時から

場所：弥富まちなか交流館3階市民ホール

## ○議 事

### 1.開会

事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・定刻となった。ただいまから、令和5年度第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。</li><li>・本日の協議会は委員総数21名のうち、19名の出席をいただいております、協議会規約第9条第1項に定める半数以上の定数に達しているため、会議が成立していることを報告する。</li><li>・また、当協議会は協議会規約第9条第3項により、会議を公開とする。</li></ul>
---------------	---

### 2.あいさつ

事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・最初に、安藤市長よりご挨拶申し上げます。</li></ul>
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"><li>・本日は令和5年度第1回目となる弥富市地域公共交通活性化協議会にご出席いただき感謝申し上げます。</li><li>・この協議会はなかなか課題が多い。机に委嘱状をご用意した。これから2年間、忌憚のないご意見を賜りたい。</li><li>・公共交通であるが、これまで2度にわたりきんちゃんバスの直行便ということで、南部ルートへの再編に向けての実験をやってきたが、なかなか結果がうまく行っていない状況である。6月2日からは実証実験としては最後になると思うが、デマンド型の乗合サービスチョイソコやとみということで、週2回、9時から16時まで運行している。このことについては後ほど担当からご説明するが、先日、私も副市長とともに市役所から乗車した。ドアツードアとはいかないが、きんちゃんバスよりははずいぶん便利な乗り物であることを感じた。市民の多くの方にご利用いただきたいと思っている。半年間の実証実験である。皆様方からもお声をかけていただき、乗車をお勧めいただきたい。</li><li>・4月からきんちゃんバスは高校生を無料にしている。特に南部ルートにおいては高校生の通学で大変利用していただいているという報告を受けている。もっと早くやればよかったと後悔しているところである。公共交通は利用いただいてどれだけというものである。高校生にもぜひ乗っていただきたいと思っている。</li><li>・今日はいろいろな協議事項がある。1つずつ山崎先生のもとでご協議いただき、忌憚のないご意見を頂戴するようお願い申し上げます、冒頭の挨拶とする。</li></ul>

### 3.資料確認

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・本日の会議資料の確認を事務局より願います。</li></ul>
-----	--

(藤井課長)	
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議資料の確認をする。</li> <li>・ 事前に送った資料として、</li> <li>・ 資料 1 : 弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿</li> <li>・ 資料 2 : 令和 4 年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書</li> <li>・ 資料 4 : 無料お試し乗車券について</li> <li>・ 資料 5 - 1 : チョイソコやとみ運行計画</li> <li>・ 資料 6 : きんちゃんバスの運賃の改定について (案)</li> <li>・ 資料 7 : きんちゃんバス北部ルートの変更について (案)</li> <li>・ 参考資料 1 : 活発で良い議論ができる会議のために</li> <li>・ 参考資料 2 : 利用者実態調査結果</li> <li>・ 参考資料 3 : 買い物支援サービス 令和 4 年度輸送実績</li> <li>・ 本日机の上に、</li> <li>・ 委嘱状</li> <li>・ 資料 3 : 令和 6 年度地域公共交通確保維持改善計画 (案)</li> <li>・ 資料 5 - 2 : 第 3 期社会実験運行の検証について</li> <li>・ 配席表</li> <li>・ フラットファイル</li> <li>・ チョイソコ通信 6 月号</li> <li>・ 不足はないだろうか。</li> <li>・ これより座長の山崎先生に交代する。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私の勤めている豊田都市交通研究所は愛知県の認可でやっている公益財団で、豊田市にある。都市交通、交通のことを専門に研究し、豊田市や愛知県など行政のお手伝いをしている。交通のことをいろいろ取り扱っているところである。中部運輸局の交通マネージャー会議のメンバーとして参加している。そういった関係で、弥富市以外にも知立市や高浜市でこういった会議の進行役を務めさせていただいている。</li> <li>・ 弥富市はきんちゃんバスを中心に、もともと近鉄、名鉄、JR と鉄道が入っているが、市の中を移動するためのバスを市が走らせている状況である。いろいろな実験を繰り返しながら、よりよいものを作ろうとしてこれまで努力してきている。この会議でどのように評価していくのか、どのように改善していくのかということを議論していく場となっている。皆さん、よろしくお願ひしたい。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (1) 地域公共交通活性化協議会について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は議題が多い。早めに進めていきたいが、必要なことは発言いただきたい。市民の方々には必ずご意見をいただきたいと思っている。</li> <li>・ 議題 (1) について事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	○参考資料 1 説明

(富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弥富市地域公共交通活性化協議会の開催にあたり、参考資料1として、国土交通省、中部運輸局から発行されている「活発で良い議論ができる会議のために」という資料を配付させていただいている。</li> <li>・ 2ページ、「地域公共交通会議」は、弥富市の場合は本協議会に当たる。地域にふさわしい公共交通を作り上げていくために住民、交通事業者、行政など関係者みんなで話し合っ決めて場となっている。</li> <li>・ 3ページ、4ページに、それぞれの立場における役割がわかりやすく簡単に整理されている。</li> <li>・ 住民代表の方を例に見ると、日ごろから感じている、利用する上での課題や困ったこと、地域の視点から公共交通に関する課題や必要な取り組みを提案とされている。日ごろから感じていることや疑問に思うこと、よくわからないことなど、何でも積極的にご発言いただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度初めの初回ということで、この協議会がどんなものかご説明いただいた。このパンフレットは国土交通省中部運輸局で作られている。各市町村の会議の第1回目では必ずこれを配り、お話いただくことになっている。</li> <li>・ 岡本さんから何か補足はあるか。</li> </ul>
岡本委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この会議自体、法律に基づいた会議となっている。事務局がバスに関して検討されている中で、コミュニティバスの路線を勝手に引くことや補助金をもらうということとはできない。会議の中で皆さんの承認をいただいた上でという格好になってくる。</li> <li>・ 皆さんのお立場における発言があると思う。専門的な用語はわからないと思うので、どんどん聞いていただければいいと思う。</li> <li>・ どの市町村にもお知らせしているが、特に住民の意見は大事にしている。事務局や中部運輸局でいろいろ調整しているが、それだけでは気づけないことを住民は多く持っていると思う。会議の議事に直接的な内容でなくても、間接的な内容等で困ったことや日ごろ感じていることを発言いただいてもよいと思っている。ご遠慮なく発言いただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議事は(1)から(8)まであり、審議事項や報告事項、協議事項と書いてある。審議事項は法律に基づく公共交通活性化再生法、道路運送法などの法に基づく決め事である。皆さんに審議していただき、賛成の方に挙手いただく。報告事項は事務局からの報告になるので、ご意見をいただくのみとなる。協議事項は審議事項ほど硬いものではないが、皆さんで賛成するかどうか採決させていただくものである。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (2) 令和4年度収支決算について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (2)については審議事項である。事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料2説明</li> <li>・ 令和4年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算について資料2を基にご報告する。</li> <li>・ 1ページ目の決算書について、款・項・目、流用後の予算額、決算額の順にご報告する。</li> <li>・ 歳入。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 款、負担金、予算額、1 億 1997 万円。決算額、1 億 1308 万 2440 円。</li> <li>・4 款、諸収入、1 項、預金利子、予算額、1000 円。決算額、3 円。2 項、雑入、予算額、801 万 8000 円。決算額、591 万 4000 円。</li> <li>・計、予算額、1 億 2798 万 9000 円、決算額、1 億 1899 万 6443 円となる。</li> <li>・歳出</li> <li>・1 款、総務費、1 項、総務管理費、1 目、会議費、予算額、1 万円。決算額、0 円。</li> <li>・2 目、事務局費、予算額、4 万円、決算額、7260 円。</li> <li>・2 項、諸費、予算額、801 万 8000 円、決算額、591 万 4003 円。</li> <li>・2 款、事業費、1 項、事業推進費、1 目、事業推進費、予算額、1 億 1847 万円、決算額、1 億 1270 万 2330 円。</li> <li>・2 目、広報公聴費、予算額、145 万円、決算額、37 万 2850 円。</li> <li>・3 款、予備費、予算額、1000 円、決算額、0 円。</li> <li>・計、予算額、1 億 2798 万 9000 円、決算額、1 億 1899 万 6443 円となる。</li> <li>・詳細については備考欄を参照いただきたい。</li> <li>・次に、運行事業費について、2 ページをご覧ください。委託契約額 1 億 759 万 1000 円、運賃収入等が 530 万 8170 円で、契約額から運賃収入等を差引いた 1 億 228 万 2830 円が事業費となっている。</li> <li>・次ページは、これまでの各年度のバス運行経費などについて整理している。運行経費は、人件費等の上昇により増加傾向で、令和 2 年度からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和 4 年度はコロナ以前の令和元年より利用者が 1 万人程度減少しているが、利用者数と収支率ともに近年増加傾向となっている。</li> <li>・以上で説明を終わる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算報告に関して、監事を八木委員と小林委員にお願いしている。八木監事から報告いただきたい。</li> </ul>
監事 (八木区長会代表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査報告する。</li> <li>・弥富市地域公共交通活性化協議会事務局より提出された令和 4 年度弥富市地域公共交通活性化協議会収支決算について、諸帳簿及びその証拠書類を監査した結果、いずれも適正に執行され、決算額に誤りはないものと認められることをご報告する。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいま報告いただいた令和 4 年度決算、監査報告について、ご意見、ご質問があればお願いします。よろしいだろうか。</li> <li>・承認いただける方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)</li> <li>・全員から承認いただいた。これで決算に関する報告は終了とする。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (3) 令和 6 年度地域公共交通確保維持改善計画 (案) について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(3) 令和 6 年度地域公共交通確保維持改善計画 (案) について、令和 4 年度が終わり、今令和 5 年度だが、なぜ令和 6 年度なのか。確保維持改善計画は 10 月を年度はじめとしているため、今年の 10 月から令和 6 年</li> </ul>
------	--

	<p>度に入る。計画の案を今日事務局からお話しいただく。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (富居)	<p>○資料3説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度地域公共交通確保維持改善計画案について、資料3を基にご説明する。昨年度からの修正部分は赤字で示している。</li> <li>・一定の要件を満たし、この「地域公共交通確保維持改善計画」に位置づけられた路線については、「地域公共交通確保維持改善事業」の運行補助を受けることが可能となる。</li> <li>・地域公共交通確保維持改善計画には、様々な添付様式・資料があるが、ここでは、地域公共交通確保維持改善計画のほか、資料末尾に表1として、弥富市内で運行する運行系統を一覧で整理したものを添付している。</li> <li>・運行系統は、きんちゃんバスの北部、南部、東部の3つのルートに対し、起点や経由地、終点の違いでより詳細に区分したものとなっており、全部で17系統が運行している。なお、確保維持改善計画の計画年度は10月から翌年9月までを1ヵ年としている。</li> <li>・最初のページ、計画の内容について説明する。</li> <li>・「1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性」についてだが、弥富市内の公共交通網は、飛島公共交通バス蟹江線が地域間幹線系統として、蟹江線に接続する東部ルートがフィーダー系統として国庫補助を受けて運行しており、きんちゃんバス全ルートが近鉄弥富駅で、北部ルート及び東部ルートは佐古木駅でも鉄道と接続している。フィーダー系統は幹線に接続しているものを言う。</li> <li>・次に、計画の目的としては、平成28年3月に策定した「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、まちづくり等の上位・関連計画と連携するとともに、地域特性や利用者特性に応じた継続的な改善を行い、使いやすく環境にもやさしい地域公共交通として確保・維持することを目的としている。</li> <li>・なお、「弥富市地域公共交通網形成計画」の基本理念を踏襲した「弥富市地域公共交通計画」を令和3年3月に新計画として策定しており、引き続き確保・維持に努めるものとしている。</li> <li>・計画の必要性については、利用者で最も多い高齢者などの交通弱者の交通手段確保として確保・維持していくことのほか、「弥富市地域公共交通計画」に基づき、今後も市内バス運行の改善・充実のため、ニーズに即したダイヤの見直し、隣接する自治体との連携等の検討を行い、あわせて地域公共交通確保維持事業により、鉄道や飛島公共交通バスなどの幹線に接続し、市民生活と地域を支えるフィーダー系統として確保・維持していくことが必要であるとしている。</li> <li>・次のページ、「2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果」として、「弥富市地域公共交通計画」における目標に基づき、令和8年度までの目標を①から⑤のとおり掲げている。</li> <li>・また、「事業の効果」としては、「弥富市地域公共交通計画」に基づく取組みの推進により、コミュニティバスの運行を維持することが可能となり、高齢者等の通院や買い物等の市民の日常生活に必要な移動手段が確保され、高齢者等の外出が促進される。また、市内鉄道との接続</li> </ul>

	<p>により、名古屋方面をはじめとした通勤・通学や買い物に対応する公共交通ネットワークを構築することができ、クルマに過度に依存しない社会の構築にも繋がるとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のページ、「3. 2の目標を達するために行う事業及びその実施主体」については、「弥富市地域公共交通計画」に基づき事業を実施するものとする。</li> <li>・次のページ、「4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者」について、現在のシステムの概要や時刻、運行事業者の決定方法について記載している。</li> <li>・次に「5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者」は弥富市となっており、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。</li> <li>・「6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称」は、三重交通（株）である。</li> <li>・次に7から11について、弥富市は「該当なし」となっている。</li> <li>・次に、「12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」についても所定の様式に従い、別途整理しているが、ここでは説明を割愛する。</li> <li>・13から19について、弥富市は「該当なし」となっている。</li> <li>・6ページ、「20. 協議会の開催状況と主な議論」として、令和4年度の協議会開催状況と、今回の協議会開催について記載している。</li> <li>・次に「21. 利用者等の意見の反映」については、協議会構成員に住民又は利用者の代表が参加していることや、弥富市地域公共交通活性化協議会の場で検討協議した結果を踏まえて本計画を策定している旨を記載している。</li> <li>・最後に7ページ、「22. 協議会メンバーの構成表」を記載している。</li> <li>・本計画については、現在も運輸支局と記載内容について調整を続けており、この会議の場では概ねの記載内容の確認と、今後、計画提出までの調整を事務局に一任していただきたく、ご審議をお願いする。以上で説明を終わる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの説明に関してご意見、ご質問があればお願いします。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日初めて出席した。4ページの5、地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者だが、内容が弥富市から運行事業者というのはコミュニティバスの決算書ということでよいのか。差額を負担するというのは、決算報告の2ページにコミュニティバス運行事業があるが、この中のことか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通については市が責任を持って運行している。国の補助金については差し引いた分、運賃収入も500万程度あるので、そちらも差し引いた分を市が負担しているという趣旨になっている。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうすると、先ほどのコミュニティバス運行事業費とは全く関係ないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算書の歳入の4諸収入の地域公共交通確保維持改善事業補助金が590万程度ある。これが国のお金になる。</li> <li>・決算書の2ページ、三重交通とコミュニティバスの契約している金額が</li> </ul>

	<p>あり、その下、530万8170円が運賃による収入になる。こちらの運賃を差し引いた分について三重交通に支払いしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この決算書の中では国の補助が入っているということと、運賃を差し引いた分を市が三重交通に支払いしているということが入った決算書になっている。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>運賃収入は運賃、国庫補助金というのは1億2200万なのか。この中の一部なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の補助金は591万4000円になる。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費は1億になっている。そこの絡みは関係ないのか。どう理解すればいいのか。2ページのコミュニティバス運行事業費とは違うのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバス運行事業費は三重交通への契約金額である。三重交通とこれだけの契約の額を結んでいて、そのうち運賃収入により差額を三重交通に払っている。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>この中で国庫補助金との関連はどうなのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算の中には三重交通の運行事業費のほかに、会議や運行の利用促進費など、ほかの経費も含まれている。それを全部合計すると1億1899万6443円になる。2ページのコミュニティバスの三重交通の運行経費はその一部となっている。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかった。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>少しややこしいが、よろしいだろうか。疑問に思った点をご質問いただきたい。ほかにはよろしいだろうか。</li> <li>ご審議いただきたい。令和6年度地域公共交通確保維持改善計画の案は、運輸支局に市から提出しているものになる。細かいところで文言の修正はあるかもしれないが、概ねこのとおりでご了承いただける方は挙手をお願いします。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(賛成者挙手)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ありがとうございます。事務局は手続きを進めていただきたい。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (4) 無料お試し乗車券について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>(4) 無料お試し乗車券について、報告事項となる。事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
	<p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用促進策として、無料お試し乗車券について資料4を基にご説明する。</li> <li>これまで12回にわたり実施し、利用者増の効果が認められた無料お試し乗車券の配布について、今年度も実施する。</li> <li>配布対象は昨年度と同様に、市内全世帯に加え、小学生にも配布することを考えている。</li> <li>また、利用可能期間については、夏休み期間のほか、7月21日から9月30日までの約2ヶ月の期間としたいと考えている。</li> <li>2ページ目には過去12回の無料お試し乗車券の配布結果を整理している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の紙の表裏が今年度のサンプルとなる。おもて面は、新型コロナウイルスが2類感染症から5類感染症へ引き下げられ、外出がしやすくなったことを受け、家族で外出するイメージのデザインとし、うら面は簡単なアンケートを記載して、回答を無料乗車の利用条件としている。</li> <li>・アンケートの内容については、問5の選択肢として、昨年度まで入っていたワクチン接種を削除したが、それ以外は昨年度と同じ内容である。</li> <li>・以上で説明を終わる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きんちゃんバスの利用促進策として、13年になるが、継続して実施している。これを広報やとみに挟んで全戸配布する。加えて小学校でも配る形で毎年やっている。</li> <li>・うら面にはアンケートをつけ、実態を把握していく。無料券なので、アンケートに答えてほしいということで継続してやっている。</li> <li>・ご意見、ご質問があればお願いします。</li> </ul>
小林委員 (弥富市女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今電気、水道、ガスがずいぶん値上げしている。私は十四山で陶芸をやっているが、きんちゃんバスが来ると高齢者の方がかなり降りる。お風呂に入りに来る。高齢で自宅にいる方が多いので、無料券を渡すに当たり、65歳以上で高齢の方ご夫婦でお風呂にお出かけくださいと書けば、バス代もタダだし、お風呂もタダであれば、家のその日のガス、電気が1日分安くなる。こういう名目を広報につけ加えれば利用が増えるのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きんちゃんバスの無料お試し乗車券については8月号の広報にも記事を載せる予定にしている。その辺の文面も検討させていただく。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事な意見である。こんな使い方ができるということを知らせるというのは大事なことである。</li> <li>・例えば知立市ではモデルコースの冊子を配っている。豊田市でも同じようなことをやっている。70歳以上の方々の定期券を買われた方に、こんな使い方ができるというものを渡して外出してもらおうということをやっている。</li> <li>・電気代が高くなっている今だからこそ外で風呂に入るというキャッチフレーズを盛り込んでいくとよい。</li> <li>・ほかにはよろしいか。これは定番の施策となっている。ぜひ継続していただきたい。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料お試し乗車券のうら面のアンケート、Q5の④の次が⑥になっている。修正して配布する。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他が⑥になっている。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (5) 第3期南部地域社会実験運行について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(5)が今日の一番重いところになる。しっかりとご議論いただきたい。第3期南部地域社会実験運行について、協議事項である。事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料5-1説明</li> <li>・資料5-1のチョイソコ運行計画について説明する。</li> <li>・こちらは昨年度の第4回協議会で諮ったチョイソコ運行計画(案)を修</li> </ul>

	<p>正し、(案)を取ったものとなっている。内容について、第4回協議会で諮ったチョイソコ運行計画(案)から大きな変更はない。今回の協議会では変更箇所のみ説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2ページ、3ページ目、チョイソコ運行計画(案)の時点では、「今後の協議や停留所設置予定事業者の回答によって変更する可能性がある」と注釈をつけていたが、事業者等との協議を経て停留所の位置等が確定したので、最終版に変更している。</li> <li>・なお、6月2日から社会実験運行を開始しているので、市のHPにも最新版の停留所マップを掲載している。</li> <li>・4ページ、5ページ目、停留所リストを記載している。</li> <li>・8ページ、今回の協議会で協議する主な内容になるが、第3期社会実験運行の評価・検証について記載している。社会実験運行の目標は本格運行するか否かを確認するための指標として位置付けており、「公共交通利用者数の増加」、つまり、既存南部ルート+第3期社会実験運行の利用者数が、実験前の既存南部ルート利用者数よりも増加しているかどうかで確認する。この社会実験運行目標は地域公共交通計画における目標①と対応している。</li> <li>・本格運行に向けて市民や事業者の実態を把握するために、以下に示す5つの検証項目を検討する。表の最下段に示す、地域の企業や目的地停留所設置施設を対象としたチョイソコやとみの協賛金への関心度に関する検証については、実施時期を令和6年1月想定としているため、第2回協議会以降に協議する。その他の4つについては、資料5-2をもとに後ほど説明する。</li> <li>・9ページ、社会実験中と社会実験後のスケジュールを示している。</li> <li>・事業主体は、実証運行中に(株)アイシン提供の利用者データの集計・分析と各種アンケート調査を実施する。また、実証運行終了後、利用者データの集計・分析結果やアンケート調査結果をもとに、実証運行の評価・検証を行うとともに、本格運行に向けた検討を行う。</li> <li>・資料5-1の説明は以上となる。</li> </ul> <p>○資料5-2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、資料5-2をもとに具体的な検証内容について説明する。</li> <li>・本協議会では、「チョイソコやとみ利用者」「チョイソコやとみ会員登録者」「大藤・栄南学区の住民」「きんちゃんバス南部ルート利用者」の4属性を対象とした検証について協議する。</li> <li>・「チョイソコやとみ利用者」を対象とした検証は、(株)アイシンが集計している利用者データより、チョイソコやとみの利用状況を集計する。</li> <li>・検証内容・検証基準としては、「1日あたりの利用者数が15人を超えているか」「実験期間内の会員登録数が500人に達しているか」「乗合率が1.5~2.0程度か」の3つとし、これらを満たしているかどうかを検証する。</li> <li>・「チョイソコやとみ会員登録者」を対象とした検証については、会員登録者に届くチョイソコ通信にアンケート調査票を同封し、会員登録者のニ</li> </ul>
--	---

	<p>ーズを把握する。実施時期は令和5年8月を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的なアンケート調査項目については、性別・年齢・運転免許の所有有無等のご自身に関する項目や、チョイソコの利用経験の有無、利用頻度、利用目的、利用しなかった理由、チョイソコの良いところ・悪いところ等を予定している。</li> <li>・現在は社会実験運行であるため、実験中の運行回数や運行の時間帯、乗車受付時間の妥当性や、チョイソコやとみの本格導入への意向等の調査項目も設定し、今後のニーズや本格運行の妥当性を把握する予定である。</li> <li>・これらを調査票形式でまとめたものが3ページになる。併せてご覧いただきたい。</li> <li>・「大藤・栄南学区の住民」を対象とした検証は、大藤・栄南学区の住民を対象としたアンケート調査を実施し、チョイソコやとみの認知度及び利用に関わる現状を把握する。</li> <li>・実施時期はチョイソコやとみ会員登録者を対象としたアンケート調査と同様に令和5年8月を予定している。</li> <li>・具体的なアンケート調査項目については、性別・年齢・運転免許の所有有無等のご自身に関する項目や、チョイソコやとみときんちゃんバスそれぞれについて、認知度や利用頻度、利用しない理由、今後の利用意向等の設問を設定する予定である。また、今後のきんちゃんバスとチョイソコやとみの必要性についても確認し、今後の公共交通のあり方を検討するうえでの基礎資料とする。</li> <li>・これらを調査票形式でまとめたものが9ページになる。併せてご覧いただきたい。</li> <li>・「きんちゃんバス南部ルート利用者」を対象とした検証は、きんちゃんバス南部ルート利用者を対象としたアンケート調査を実施し、主にきんちゃんバスからチョイソコやとみへの転換可能性を把握する。</li> <li>・実施時期は学生の夏休み時期を避け、令和5年9月を予定している。</li> <li>・具体的なアンケート調査項目については、性別・年齢・運転免許の所有有無等のご自身に関する項目に加え、社会実験運行開始前と後のきんちゃんバスの利用状況、きんちゃんバスの利用目的等のきんちゃんバスに関する項目や、チョイソコやとみの利用経験の有無、利用頻度、利用目的、チョイソコやとみを利用するようになるためには等のチョイソコやとみに関する設問を設定する予定である。また、今後のきんちゃんバスとチョイソコやとみの必要性についても確認し、今後の公共交通のあり方を検討するうえでの基礎資料とする。</li> <li>・これらを調査票形式でまとめたものが13ページになる。併せてご覧いただきたい。</li> <li>・これらの検証に加え、地域の企業や目的地停留所設置施設を対象としたチョイソコやとみの協賛金への関心度に関する検証も行うが、実施時期を令和6年1月想定としているため、第2回協議会以降に協議する。</li> <li>・以上で第3期社会実験運行に関する検証の説明を終わる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験が始まっている。これを評価していくということである。資料5-1は前回の協議会でご承認いただいて、6月から実験に入っている。どう</li> </ul>

	<p>評価していくか、検証していくか。これを今後続けていく価値があるかどうかを検証していく必要がある。そのための調査について説明いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に資料 5-1 の 8 ページの表のチョイソコやとみの会員登録者へのアンケート、大藤・栄南学区の住民へのアンケート、きんちゃんバス南部ルート利用者へのアンケート、この 3 つに関して説明があった。調査票も具体的に作り込んでいるところである。これに関してご意見、ご質問があればお願いします。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この計画を読ませていただいたが、チョイソコを自分が利用しようと思ったときに、医者に行き、買い物に行き、帰りに乗りたいとか、そういうことも可能なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地の病院やスーパーを連続しての利用はできない。ご自宅の近くの停留所から目的地へ行き、当初乗っていただいたところに戻る形である。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーで行って帰るようなイメージなのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーであれば自分の行きたいところに次から次へと行けるが、チョイソコは大藤・栄南学区以外に設置してある停留所間の移動はできない形になる。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海南病院に行こうと思うと、病院に行き、それで終わりなのか。帰りの便もあるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご自宅の停留所から海南病院へ行く便、受診が終わったら海南病院からご自宅に戻られる便はある。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院に行くと時間がかかる。帰りの便はどうするのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余裕を持った時間帯で帰りの便の予約をしていただく。</li> <li>・もう 1 点は、早く終わったときは一旦キャンセルしていただき、再度予約を取っていただく形になる。予約の 30 分後には到着するような段取りで計画している。そういったことも考慮しながら時間を見ていただく形になる。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 つのルートで、A さんは海南病院へ行く、B さんは買い物が行きたいという、その人たちのルートを通っていくことになるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。最初に余裕を見て、同じような時間帯の人の乗り合わせを効率的にやるという仕組みである。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者が大変である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこはアイシンのカーナビゲーションシステムのメリットを使っただけの乗合になる。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等な技術が要る。毎回ルートを作るのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。同じような時間帯で予約があれば、理想的なコースで、余裕があればという形になる。</li> </ul>
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単で便利になったと思ったが、中身は難しいものだ。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんがご利用したい時間帯に運行する形になるので、効率のよい運行ができるのではないかと考えている。理想どおりに行くかどうかは難し</li> </ul>

	<p>いところがある。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑なシステムで、きちんとルートを組み提供していくという形になる。予約をしようと思っても、なかなか予約が取れないことも当然出てくる。そういったことも今回のアンケートやデータから確認していく。</li> <li>ほかにいかがか。</li> </ul>
岡本委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料5-2、チョイソコやとみの利用者の毎月集計のところでは数値が挙げられているが、1日当たり15人というのは、ほかのチョイソコを見ているとハードルが高いという印象を持っている。15人、乗合率1.5~2.0、この数字にした理由があれば教えてほしい。</li> <li>アンケートは「投函ください」と書いてあるので郵送されると思うが、アンケートの回収の目標、自治体によって50%の回収はできないというところはあるが、どのぐらいの回収を目安にしているのか。その中でどう判断していくのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日当たりの乗車人数や乗合率はチョイソコの先進地の数値を参考にし、弥富市としての目標という形で設定した。</li> <li>計画を策定した際のアンケートの回収率は3~4割であった。それを参考にしながら、アンケートの回答が有効になるような回収率を目指していきたい。</li> </ul>
岡本委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>この目標の数値もそうだが、アンケートの回収の内容によってチョイソコの導入をするかしないか総合的に判断するということか。それとも現在あるこの数字を目標にしてとか、具体的なものがあるのか教えていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値という形で設定させていただいたものも評価の1つに加えさせていただき、アンケートでの集計結果についても検証させていただき、本格導入に向けての評価とさせていただきたいと考えている。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標の客観的な数字が出されると、この数字を達成しなかったときにどうするのか、やめるのかと問われることがある。事務局から説明があったように、この数字だけでなく、10人や8人でもアンケートからの評価も含めて総合的に判断していくということか。</li> <li>総合的な評価ということ考えると大事だと思うのは、今日は案が出てきていないが、チョイソコのいいところは地域の企業やお店に協力いただき協賛金を出してもらおう。協賛金を出してもらおう理由というのは、そのお店にお客さんがこれを使って来ることができるということや、お客さんが来なくても社会貢献として協賛金を出してくれる企業があれば市の負担が少なくて済む。次回の協議会で案が事務局から出てくるはずだが、協賛の可能性のアンケート調査を企業に対してやっていく。もしたくさんお金が集まるようであれば、何とか市民のためにチョイソコを走らせるということもありという判断ができると思う。そういった判断を総合的にしていくということになると思う。</li> <li>ほかにいかがか。</li> </ul>
五藤氏 (あんしんネット21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回チョイソコやとみの運行事業者として参加させていただいている。6月2日から実証実験がスタートし、6回終了した。私は1日同乗して、利用者のご意見、お話をさせていただいた。</li> <li>印象としては、初日だが、弥富さんはすごいことを始めたねという声もあった。最初は戸惑っておられた方が、帰りに自宅まで帰るときに、いいな、これということで、すべての方から絶賛された。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その後、うちのドライバーから毎日運行後に報告を受けるが、お友達のように昨日の誰々さんがまた今日も乗ってくれた、嬉しかったというドライバーの声も上がっている。</li> <li>・20日に弥富市役所の方が、視察かわからないが、市長さんも乗られたとドライバーから報告があった。冒頭に市長が大変便利な乗り物だったという言葉をいただいたが、ほかに乗られた方の感想や、うちのドライバーの運転はどうだったのか。言いづらいかと思うが、今後の励みになるので一声あればと思う。どうだろうか。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チョイソコを運行していただいているあんしんネットさんとアイシンさんにオブザーバーとしてこの会に参加していただいている。今現場の声を聞かせていただいた。ほかに利用しての感想があればということであるが、委員のメンバーの方は使われた方はいないか。</li> </ul>
小林委員 (弥富市女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チョイソコについてお友達から情報を聞いた。鍋田、操出、東末広の方もバスを見たことがないと言われた。鎌島地区は何人か乗り降りするのを見たという方がいる。なぜかという鎌島地区の方はタクシーを利用する方が多い。タクシーで駅まで来ると1500円ぐらいかかるが、400円なら安い。その地区は厚生年金をもらっている方が多く、今まではタクシーを利用していた。</li> <li>・南の方は遠いので、行っても帰ってくるのが不便だということで、なかなか利用者がいないと聞いた。</li> <li>・停留所がわかりづらい。消火栓ボックスに貼ってあるのか。きちんとした停留所がどこにあるかわからないと操出の方がおっしゃっていた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ認知度が低いのもっと頑張らなければいけない。各地域で土日にお集まりいただき、停留所の位置の確認をしていただきながら、乗車方法、予約方法を説明させていただいた。</li> <li>・近況の状況について、アイシンから予約状況や利用状況の報告をいただきたい。</li> </ul>
大屋氏 (アイシン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営をしている株式会社アイシンである。現在、1日当たりの乗車人数は平均8~9名である。始めたばかりというところもあり、各市町では周知が進んでいくと右肩上がりや伸びていく傾向があるので、今後はこれをさらに広げていきたいと思っている。</li> <li>・明日は金曜日で、明日の予約は既に11件いただいている。現状、当日予約と事前予約は半々である。明日、当日予約もあると思う。こういう形で進めたい。</li> <li>・会員登録数は、チョイソコを始めていくのに非常に大切に思っていることがまず知っていただくこと。停留所の話もいただいたが、そこを大切に思っている。3月から約3か月かけて地域にお邪魔し、1件1件回って説明会をさせていただいた。その成果もあると思うが、450名ほど会員登録をしていただいた。今後口コミなどで周知が図れればと思っている。</li> <li>・チョイソコ通信をお手元に配布しているが、主に高齢者に乗っていただく機会が多いので、高齢者は情報を自分で集めることが苦手なところがある。情報の発信の1つとして、第1号ではチョイソコやとみの周知をさせていただいている。2ページ以降では、少しでも外に出ていただくきっかけになるような情報の発信をさせていただいている。今月末にチョイソコやとみでの初めての初めのお出かけイベントをやっていく。我々とし</li> </ul>

	<p>ても住民と直接触れ合う機会にもなる。イベントを楽しんでいただき、生の声をお聞きし、さらに改善していきたい。これらの活動を合わせて目標を達成できるように取り組んでいきたい。皆さんからもご意見をいただきたい。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ほかにご意見、ご質問があればお願いします。</li> </ul>
八木委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人的な意見で恐縮だが、皆さんのお話を聞いて感じたことは、鎌島地区は利用者がわりと多いということであるが、南部地区の現状の生活環境は自家用車がないと生活しにくい状態だと思う。そんなこともあって利用者が少ないと思った。</li> <li>• まだデマンド交通は検証の段階でいろいろあると思うが、時間帯が9時から16時ということ、通勤時間帯の8時から17時に合わせた時間帯も考えていただくと便利だと思われるのではないかな。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運行時間については、地域に説明会にお邪魔した際に、もう少し早い運行時間にしてほしいというご要望や、夕方も子どもの塾の送迎に活用できると助かるので、せめて17時まで運行してほしいというご要望をいただいている。アンケートで皆さんのご意見を吸い上げ、本格運用に向けて検討したい。</li> </ul>
大島委員 (弥富市福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これは実証実験であるが、栄南と大藤地区の住民ということになっている。例えば白鳥学区の人が使うことはできるのか。アンケート上は登録すればOKという形になっているが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 回答としてはどなたでも利用できるし、会員登録できる。</li> </ul>
大島委員 (弥富市福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 例えば私が弥富駅から誰かを訪ねるために鍋田に行くことも可能なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 弥富駅から例えばいこいの里に行きたいとか、名古屋競馬場に行きたいとか、お友達の家に行きたい、杉本クリニックに行きたいということであれば利用いただくことは可能である。</li> </ul>
大島委員 (弥富市福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 栄南地区の方は通勤圏が蟹江駅である。市外ではあるが、なぜ蟹江駅が入っていないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域説明会や1期、2期のきんちゃんバスの社会実験のときでも、栄南学区、特に本市の中央より東側のエリアの方は生活圏、通勤通学で蟹江駅を利用している方が多数いることは理解している。そこについては飛島バスがあるので、そちらのほうの接続をチョイソコでやればという形での停留所の設置をして、そこの連携を視野に入れながらの実験を進めているところである。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 飛島バスが結構便利であるので、そこまでチョイソコで行けるようにしている。欲を言えば蟹江駅に出たいという人が多いのであれば、隣の町であるが、蟹江まで乗り換えなしで結ぶような路線が将来的にはあるとよいというのは住民の皆さんも思っていると思う。そこも含めて課題解決していくことが山積みということである。</li> <li>• 小林さんが言われた地区による特性の違いもきちんと把握したほうがよい。地区の特性と利用状況の分析をしておくべきである。</li> <li>• アイシンさんからチョイソコ通信の紹介があったが、チョイソコ通信の評価もアンケートに入れてはどうか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかにはよろしいだろうか。いろいろご意見をいただいた。協議事項である。この調査について、今日はアンケート調査票まで載せてあるが、実施時期を考えると早く中身を決めていきたい。この場でアンケート調査票を全部見ている時間がない。意見があれば事務局まで意見を寄せていただきたい。</li> <li>・いつごろまでであれば意見は反映できるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月にアンケートを実施する。7月上旬までにご意見をいただければアンケートに反映できる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月上旬までにご意見があれば事務局までお寄せいただきたい。コンサルなどと一緒に作り込んでいきたい。</li> <li>・調査を実施するということでもよろしいか。この調査で評価していくということです承りいただけるという方は挙手をいただきたい。 (賛成者挙手)</li> <li>・ありがとうございます。事務局で作業を進めていただきたい。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (6) きんちゃんバスの運賃の改定について (案)

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(6) きんちゃんバスの運賃の改定について (案)、審議事項である。説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (富居)	<p>○資料6 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きんちゃんバスの運賃の改定について、資料6を基にご説明する。</li> <li>・きんちゃんバスは平成22年6月21日(月曜日)から、通学・通勤・通院・買物など市民生活のための移動手段の確保、公共交通空白地域の解消を目的として運行しており、運行開始時より、75歳以上の方及び未就学児の運賃は無料としている。</li> <li>・また、通勤・通学など利用頻度の多い方の料金負担の軽減を図り、利用を促進するため、定期券や回数券、65歳以上の方を対象としたシルバーパスを発行している。</li> <li>・さらに、令和5年4月より、公共交通の利用促進と保護者の経済的負担軽減を図ることを目的とし、市内の高校生を対象とした「コミュニティバス運賃助成定期券交付事業」を実施している。</li> <li>・本市では、さらなる公共交通の利用促進や保護者の経済的負担軽減を図ること、障がい者のさらなる外出の促進を目的とし、令和5年10月1日から中学生以下と障がい者及び同伴介護者の運賃を100円から無料に変更したい。</li> <li>・参考までに、本資料の最下段にコミュニティバス運賃助成定期券の6月8日時点の申請者数と4月の乗車実績を記載している。申請者数は43人で、4月の乗車実績は286回であった。また、5月の乗車実績は461回であったので、口頭でご報告する。</li> <li>・以上で資料6の説明を終わる。ご審議をお願いします。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃の改定ということなので、この協議会で承認されで、協議会で決めた運賃ということで適用していくことができる。今までは100円だった中学生以下と障がい者及び同伴の介護者も無料にするという運賃の改定である。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見、ご質問があればお願いします。よろしいでしょうか。</li> <li>・4月からやっている高校生を対象とした運賃助成の利用も報告いただいた。</li> <li>・特に意見がないようなので、ご審議いただきたい。運賃改定に関して賛成の方は挙手をお願いします。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(賛成者挙手)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。これで若年層の方々がバスに乗る機会が増えればということである。しっかりとこの年代の子どもたちの利用が増えたかどうか今後分析していただきたい。</li> </ul>
--	---

#### 4.議題

##### (7) きんちゃんバス北部ルートの変更について (案)

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(7) きんちゃんバス北部ルートの変更について、ルートの変更もこの協議会で審議する内容となる。説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (富居)	<p>○資料7説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きんちゃんバス北部ルートの変更について、資料7を基にご説明する。</li> <li>・現在、きんちゃんバスの車両として使用しているマイクロバスの老朽化が顕著となっている。そこで、令和5年6月1日より、三重交通(株)の車両をリースし、使用しているマイクロバス4台のうち2台の入れ替えを実施している。</li> <li>・それにより、北部ルート11便が運行する名鉄津島線の高架下で高さ制限による影響を受けているため、令和5年10月から資料7に示す現在ルートを廃止し、新ルートへの変更を実施する。</li> <li>・このルート変更に伴い、ダイヤを変更する可能性もあるため、現在新しいダイヤを作成しているが、ルート変更によりダイヤが1分程度変わる可能性があるため、口頭でご報告させていただく。</li> <li>・新しい北部ルートのダイヤは次回の協議会で報告事項として諮らせていただく。</li> <li>・以上で資料7の説明を終わる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の変更に伴い、高さが高くなり、線路下が通れなくなってしまう。ギリギリ通れるそうであるが、制限を超える高さのものは事故が起こったときにやり玉に上がってしまう。規制されているところは通ることができないということでルートを変えるということである。</li> <li>・ご意見、ご質問があればお願いします。</li> </ul>
岡本委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状のルートは路線廃止という理解でよいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらは北部ルートの平日と土曜日の11便の一日一回のみ通っているルートで、現在ルートは廃止にさせていただこうと思っている。</li> </ul>
岡本委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、警察、道路管理者との調整は現在どうなっているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察には規制の担当者に話をした。海部建設事務所に対しても担当の方に話をしている。市の土木課にも道路管理者として話をしている。</li> </ul>

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との調整は終わっているということである。</li> <li>・変更する区間を廃止して新しいルートとする区間にバス停はない。通る経路が変わるだけである。</li> <li>・ほかにご意見、ご質問があればお願いします。よろしいだろうか。</li> <li>・北部ルートの変更に関して、少し長くなるからダイヤの変更の可能性がある。それはここで承認いただいたということで、改めて決まったら報告するということである。このような形で承認いただける方は挙手をお願いします。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(賛成者挙手)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。皆さんから承認いただいたので、手続きを進めていただきたい。</li> </ul>
------	---

#### 4.議題

##### (8) その他

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他として、事務局から何かあるか。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他として2点ある。</li> <li>・まず、現在のきんちゃんバスの利用状況、南部地域社会実験運行バスについて、参考資料2の利用者実態調査結果をご覧いただきたい。</li> <li>・令和5年4月のデータまで集計しているが、令和4年度の1年間のデータの集計ができたので、主に令和4年度の1年間を通した実績がどうだったかを説明させていただく。</li> <li>・1ページ目、年度別乗車人員の推移について、令和4年度は、全ルート計は令和3年度と比較し約7600人増加し7万3828人、比率はで1.12となっている。</li> <li>・2ページ、令和4年度は1日あたり平均乗車人員、1便あたり平均乗車人員ともに、全ルートにおいて令和3年度に比べて増加している。</li> <li>・令和5年度は4月のみの実績だが、1日あたり平均乗車人員は令和4年度と比較して横ばい、1便あたり平均乗車人員は全ルートで令和4年度に比べて増加している。</li> <li>・3ページ、月別乗車人員の推移についてであるが、令和4年度の月別乗車人員の全ルート計は、令和3年9月～令和4年8月にかけて南部地域社会実験運行バスを運行していた関係で、令和4年の4月～8月は令和3年度より利用が多くなっているが、令和4年9月から3月は令和3年度より利用が少ない月も見られる。ただし、新型コロナウイルス感染症による移動規制の緩和等も影響し、1年を通した合計は令和3年度の1.12倍となっている。</li> <li>・南部地域社会実験運行バスの結果は7ページに示している。昨年度の協議会で説明しているので説明は割愛するが、参考までにご覧いただきたい。</li> <li>・次にルート別の月別乗車人員の推移であるが、4ページ目の高齢者が多く買い物利用が中心の北部ルートでは対前年度比1.10。5ページ、買い物や通勤・通学利用が多い南部ルートでは対前年度比1.17。6ページ、高齢者が多く公共施設利用が中心の東部ルートにおいては対前年度比1.05となっている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は4月のみの実績だが、令和4年度との比率は、北部ルートは1.01、南部ルートは1.15、東部ルートは1.08といずれも令和4年度を上回る実績となっている。</li> <li>・以上で、参考資料2の説明を終わる。</li> <li>・2点目として、移動支援事業の状況についてご報告する。</li> <li>・弥富市ささえあいセンター買い物支援サービス令和4年度輸送実績について、参考資料3を基にご報告する。</li> <li>・この自家用有償旅客運送実績報告書は、各年度分を翌年度5月末までに、愛知運輸支局に提出することが定められており、今年5月に提出した報告書になる。</li> <li>・令和4年度の弥富市ささえあいセンター買い物支援サービスの輸送実績は、車両は、プリウスとシエンタの2台で、輸送人員は17名、運送回数は223回となっている。</li> <li>・運送の対価は30分あたり150円、運送の対価以外の対価の介助料は30分あたり200円となっているが、運送部分の収入は12万1000円となっている。</li> <li>・令和3年度から続いている自家用有償旅客運送の福祉有償運送だが、令和5年3月末に迎えていた更新期限について、昨年度の第3回協議会で審議し、委員の皆様から合意をいただいたので更新登録し、今年度以降も昨年までの内容で事業を継続していく。</li> <li>・これで参考資料3の説明を終わる。事務局からの報告事項は以上となる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きんちゃんバスの全体の利用者数の推移と、ささえあいセンターの自家用有償、白ナンバーの車で福祉のために買い物のお手伝いする形のサービスである。その報告があった。今報告いただいたことを含めて、全体でご意見があればいただきたい。</li> <li>・公募委員の方からご意見をいただいたが、伊藤委員からはまだご発言ない。どんなことでも結構である。</li> </ul>
伊藤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回から引き続き今年度もということで、あと2年よろしく願います。</li> <li>・去年チョイソコでやりますとなり、最近始まってどうなのか気になっていた。明日も予約が入っているということをお伺いしてよかった。6月30日のお出かけイベントもすごくよい。交通手段だけでなく、市民の方が集まれる場や楽しみにできる場所が増えるのはいいことだと思った。これから楽しみである。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントとお出かけの目的を作ってあげることはいいいことである。チョイソコに限らず、市のほうでもお出かけのイベントを作って、それと絡めて高齢者の方を連れ出す仕組みも考えていただきたい。</li> <li>・ほかにいかがだろうか。よろしいだろうか。</li> <li>・議事は以上となる、進行を事務局にお返す。</li> </ul>
5. 閉会	
事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎先生ありがとうございました。</li> <li>・以上で、第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を終わる。今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。</li> </ul>
	以上